



ぺりかん社 なるにはBOOKS 新シリーズ紹介！

★高校調べ★

中学生のきまり
学校調べ

高校には普通科だけでなく、専門性の高い学科や様々な特色を持った学校があります。そんな高校選びで悩める中学生へ向けたシリーズ。2023年出版の「総合学科高校」から始まり現時点で12タイトル刊行されています。



『水産・海洋科高校』
大岳 美帆／著



『知りたい！専門学校
文化・教養分野』
木村 由香里／著

★知りたい！専門学校★

学校調べ

進学の見通しの一つとなる専門学校。2025年出版の美容・理容・メイク・ネイル関連の専門学校を紹介した「衛生分野1」から始まり現時点で5タイトル刊行されています。

♡ my favorite♡

好きなモノを好きなだけ読めるコーナー

◆Talk 25: // トロールものがたり



多くの人がそうではないかと思うのだが、幼少期の私に「トロール」の存在はマーシャ・フランクの『三びきのやぎのがらがらたん』だった。当時住んでいた町には図書館や本屋がなく、もちろん家にも絵本がなかったため、私にとって本といえば幼稚園のクラスの片隅に置いてある本棚だけの世界だった。その本棚にあったのが『トロールものがたり』。トロールとトロールは違っただろうか？「からがらがら」でトロールは不気味で怖いという印象が残っていた私は、この本を開いた時、トロールはなんてカラフルなんだとびっくりした。地味な表紙に反してその本の中では山や森に住むトロール、頭が3つあるトロールが色鮮やかに描かれていた。最初は絵を眺めているだけだったが、そのころからずいぶん読むようになった。

その頃のことを思い出していたある日、大人になり大久保図書館で働き始めた私は再びこの本と出会った。背表紙を見てもしかけて思い、棚から引っ張り出して中を見て「あ、この本だ」とちよびの感動した。そして幼少時読んでいたのはほんの出版のもので、童話館出版から2001年に再版された本が図書館にあった本だということを知った。また購入できると分かった私は、同じ本が好きだと言っていたはずの妹の誕生日に「プレゼントをだ」と言が喜びと思っていた妹には不思議そうな顔をされた。好きだったのは妹ではなく姉の方だった…。今でも妹の本棚にはこの本が並んでいる。(コロ)



『トロールものがたり』
イングリッド・シュバート/著・エ
ドガー・ドレーア/著・エ
へんみ まさお/やく
童話館出版

編集後記 ティーンズレター第63号はいかがでしたか？今回は秋頃にお会いしましょう♪



若かりし頃、高校の夏服半袖ブラウスが気に入らず、ずっと長袖にベストで過ごしていました。教室、体育館には冷房なし。ノートが汗で濡っていた懐かしい思い出。大人になった今は暑さに耐えられません。(コロ)

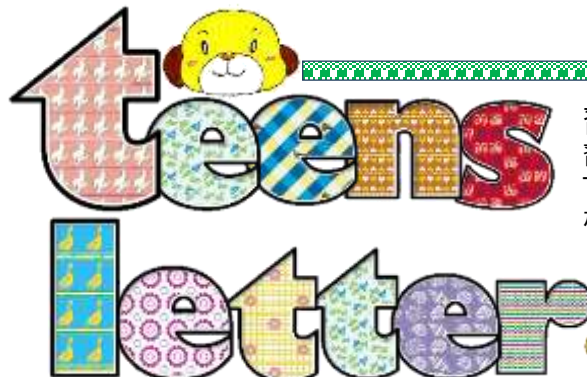


旅がとても好きです。将来は美しい景色を眺め、爽やかな風に吹かれながら「そろそろ次の場所に行くころかな…」みたいなこと言っちゃって各地を巡る計画です。宝くじよ。当たれ。当たるのじゃ。(おもち)



もうすぐ夏休み！せっかくならどこかへ旅行に行きたいなあと思いましたがこの暑さ…。冷房の効いた部屋にひとりこもって、アイス食べてゲームしたり本読んだりしてのんびりしようかしら。(メル)

2026年7月発行

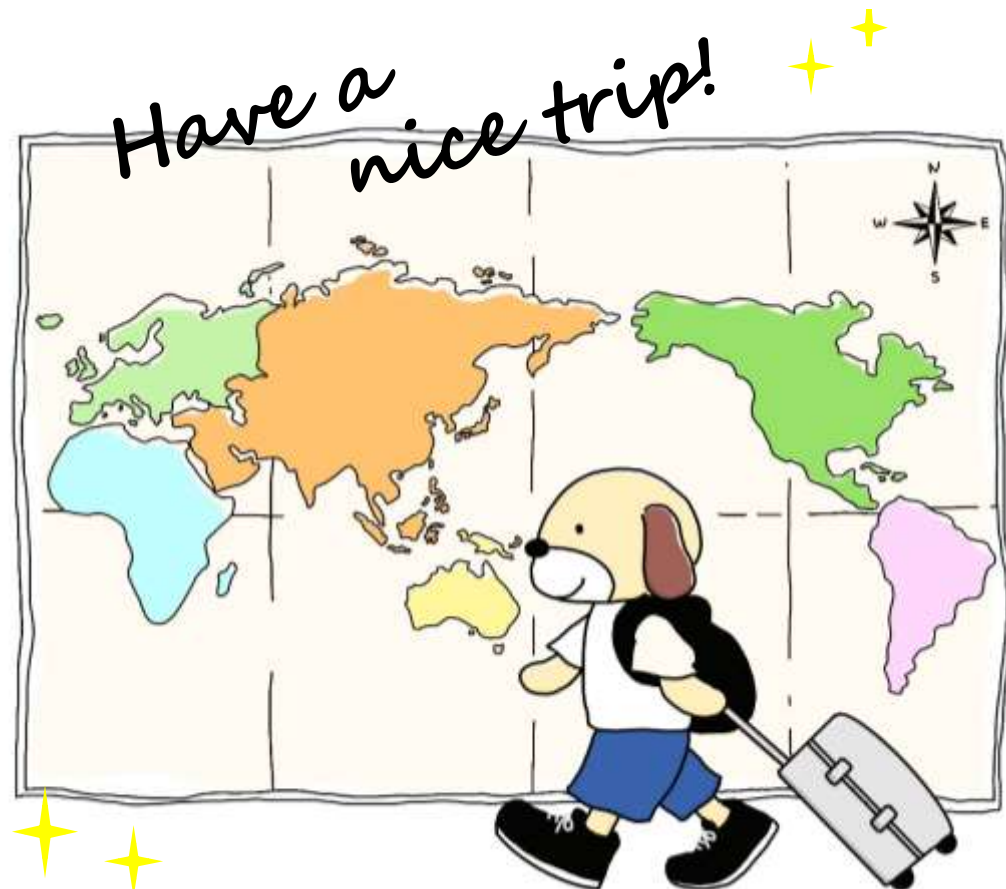


習志野市立中央図書館
習志野市本大久保 3-8-19
TEL:047-475-3213
ホームページ



<https://www.narashino-lib.jp>

ティーンズレター
VOL.63



TEENS CORNER BOOK NAVI

あなたはどんな旅が
したいですか？

☆°:~:~:~:☆,~:~:~:☆ ☆°:~:~:~:☆,~:~:~:☆
歩く、出会う、世界が変わる！

☆°:~:~:~:☆,~:~:~:☆ ☆°:~:~:~:☆,~:~:~:☆

『美しいものを見に行くツアーひとり参加』

益田 ミリ／著 幻冬舎

美しいものを見ておきたい。そう思い、一人で海外のツアー旅行に参加する事にしました。北欧のオーロラ、ドイツのクリスマスマーケットなど、一度は行ってみたい！と思う場所ばかり。一人での海外旅行は心細いけれど、ツアーなら一人参加でも一人じゃないので安心です。



『逃げ続けたら世界一周していました』

白石 あづさ／著 岩波書店

嫌な事があった時、心が苦しくなった時、生真面目で不器用な著者の心を癒してくれたのは旅でした。そして心の大掃除のために会社を辞め、世界一周の旅に出ます。異国を旅して出会った人々との交流や経験を通して、「こうじゃなきゃ！」「こうあるべき！」という固定観念を溶かし、心を広げてくれたお話を紹介します。



『k. m. p. の、石コロ、ぐるぐる。 石をめぐる小さな旅』

k. m. p. /著 東京書籍

小学生の時、石を蹴りつつ家まで帰ったり、河原できれいな石を拾ったり。そんなムラマツ＆なかかわ+「石の人」による石の世界へようこそ。石に始まり岩石・鉱物・宝石の定義などについておしゃべり感覚で読んで楽しめます。エジプトやアメリカなど世界各国で見た石の紹介にも注目。



『深夜特急 1 新版』 沢木 耕太郎／著 新潮社

“旅”がテーマであれば避けては通れない、旅文学の傑作！1974年、26歳の著者はルポライターという仕事から離れ、ユーラシアを陸路で行く旅に出ます。目指すはロンドン。予定調和とはかけ離れた旅の様子は、風景や緊迫感だけでなく、その土地の温度や匂いまで読み手の元に伝わってくるかのよう。著者の旅路を追体験する全6巻です。



『さいはての彼女』 原田 マハ／著 KADOKAWA

敏腕若手女性社長の鈴木涼香。会社は順調に成長したものの、恋人と別れ、有能な秘書は会社を去ることに。恋に仕事に疲れた彼女は秘書に沖縄でのサマーヴァカンスを手配させた。ところが着いたのは北海道の女満別で…？予想外の旅行、予想外の出会いに困惑しながらも涼香の心は解きほぐされていく。旅と再生をテーマにした珠玉の短編集です。



『旅猫リポート』 有川 浩／著 講談社

野良猫のナナは瀕死の自分を助けてくれたサトルと暮らし始めた。ところが5年後、ある事情によりサトルはナナを手放すことになってしまう。サトルはナナと共に「僕の猫をもらってくませんか？」と友人のもとを訪ね回ることに。銀色のワゴンに乗り、一人と一匹の最後の旅が始まった。



『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』

青柳 碧人／著 双葉社

旅をすると出会う、美しい景色、忘れられない人々、そしてあれは死体…？シンデレラと共に舞踏会へ行くことになった赤ずきん。城に向かう途中で炭焼き職人のハンスを馬車で轢いてしまい！

世界童話を旅するミステリーシリーズ。現在4巻まで刊行され、今日も今日とて赤ずきんは死体と出会います。



『失われたものたちの本』

ジョン・コナリー／著 田内 志文／訳 東京創元社

父の再婚相手と生まれてきた弟を受け入れることができず、孤独な毎日を送るデイヴィッドは、病気で亡くなったはずの母親の助けを求めるささやき声に誘われるがまま恐ろしい別の世界へ迷い込んでしまいます。果たして母親はこの世界にいますでしょうか？デイヴィッドの果てしない旅が始まります。続編の『失われたものたちの国』もあわせてどうぞ。



『その本は』

又吉 直樹／著 ヨシタケ シンスケ／著 ポプラ社

本の好きな王様にある日呼び出された二人の男は、「世界中を旅して『めずらしい本』について知っているものを探し出し、その本についての話を聞いて、その本の話为王様に話す」という使命を課せられ旅にでた。1年後、国に戻ってきた二人は様々な本の話語ったが…。オチに爆笑(*'V')

